



日本アシュラム

WINTER 1990

United Christian Ashrams of Japan

69

開 心・静 聴・充 満・献 身・奉 仕

りであって。常に新しい地区(単位)の参加を期待している。



アシュラムの五大原則の 実践者パウロに学ぶ

中 島 彰

アシュラムの五原則を身をもって体得したひとりパウロでしょう。

彼のダマスコ途上での百八十度の回心はキリストへの全き明け渡しでした。「見よ彼はいま祈っている」は、主の御言への静聴の姿であり、それに続くアナニヤの来訪は、彼にバプテスマを授け、聖霊の満たしを与えるためでした。数日後、彼は会堂で「このイエスこそ神の子キリストである」ことを立証し、ダマスコに住むユダヤ人たちを言い伏せました(使徒行伝九・1-22)。

さらに彼は、十年近くも故郷タルソに隠棲して静聴と黙想の日を過した。これが彼のアシュラムでした。

そののち、パウロは信友で「聖霊と信仰に満ちた」バルナバの要請を受け、共にまる一年アンテオケ教会を牧会しましたが、時がきて「ふたりに聖霊に送り出され」世界宣教へと派遣されたのでした。それは真に聖霊の啓導と充滿にみちたものでした。このパウロの、教会への奉仕と伝道の事情のすばらしさについては使徒行伝十三章以下に詳しく記録さ

れているとおりです。これらの事後、彼は捕われの身となり、生涯の念願であったローマに到着、初対面の主にある兄弟に歓迎されました。しかし、彼はそこで満二年の間、獄中に軟禁されました。ここでも彼はアシュラムの恵みを受け「キリストとその教会」について深い啓示を受けました(使徒二八・15-31)。

さきにパウロはコリントからローマにいる未知の信徒たちに長い手紙を書き送りました。彼は以前から幾度もローマ行きを熱望しました(ローマ一・9-13、一五・22-24)。とうとう待ち切れないで書いたのが、有名なローマ人への手紙でした。この書は後の世に住む今日の私たちまで福音の全貌を知らせる大きな恵みの遺産となっています。

さて、アシュラムの特徴の一つは恵みの分ち合いです。パウロがローマ行きを切願したのは「自分に与えられた霊の賜物を幾分でも分け与えたい」から。「というよりも、あなたがたと私の互の信仰によって共に励ましを受けたい」からでした

(一・11-12新改訳)

また彼の毎日の禱告は、「聖徒たちの継ぐべき神の国がいかに栄光に富んだものであるかを知るに至る」事でした(エペソ一・18-19)。彼はこの光栄を知っていました(ローマ八・18、IIコリント四・17)。それ故、彼は第二伝道旅行の帰途、伝道した町々を再訪して「私たちが神の国にはいるのには多くの苦難を経なければならぬ」と言って力づけ、奨励しました(使徒一四・22)。

使徒パウロはローマ人への手紙の教理的部分(一章-一章)を訳して、後半の実践的部分(二章-一章)の冠頭に全き献身を勧めました。「兄弟たちよ、そういうわけで...あなたがたのからだを、神の喜ばれる、生きた、聖なる供え物として献げなさい」これこそ当然の祭り(reasonable service)です。

(一・1-1) 霊的な礼拝(サービス)は実践的な愛の奉仕(サービス)(一・2-7以下)を生み出します。

アシュラム五大原則の体験者パウロやスタンレー・ジョーンズをはじめその他の信徒に倣いましょう。

そして初代教会の宣教の主題であった「イエスは主なり」を、三本指を高くかざして宣べ伝えましょう。

編集人 淵江 淳一
発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 予60円

黒田四郎先生を想う

海老沢 宣道

前号の末尾に簡単な訃報が記されていたが、黒田先生とスタンレー・ジョーンズ博士とアシュラムとの深い関係をぜひ共全国の同志に永く覚えて頂きたいと思ひ筆を取る。

私が先生を知ったのは、昭和初期の神の国運動の時からで、戦後も賀川豊彦と共に新日本建設運動とその他の全国伝道に必ず影の形に従うように同行され、何れの集會に於いても、賀川の説教や講演の前に大きな声量で讚美歌の指導に当たったり、集會の進行、最後の『恵みの御座』への招きを整理されていた。そのような講壇の上にいる時の先生の顔は救霊のみわざに仕えている喜びに輝いていた。

先生は明治29年軍人の家の四男として東京に生れたが、八才の時、新選組の残党で牧師になった鈴木寿一の伝道で入信、大正七年に神戸神学校を出て伝道者となり、間もなく31才の時に賀川の説教に共鳴して神の国運動に参加、謙遜な下働きをした。パウロにバルナバあり。十九世紀のムーデーに音楽家サンキーがついていたように、賀川の伝道に先生は不可欠の協力者であった。

私が韓国に渡った同じ昭和14年に中国大陸の伝道に行き、敗戦の年まで

で日本の罪の償いのために働いた。

戦後日本を愛してその荒廃から人心を救うために、スタンレー・ジョーンズ博士が昭和24年から二・三年おきに九回来日、全国に伝道を展開された時は、卒先して中央委員に加わり、また博士が開始されたアシュラム祈禱生活の東京地区委員長として奉仕された。

昭和40年、70才になられた時、恩師の鈴木牧師も、賀川も72才で召天したから、『自分もその年には引退しよう』と宣言していた処、83才のジョーンズが『神は私を60代よりも70代よりも健康を恵んで御用に当らせている』と語った姿に強い靈感を受けて再献身をしたと言う。

スタンレーが87才になる昭和46年に『ぜひ最後に今一度日本伝道をしたい』と申越された時、NCCは伝道運動の世話をしないことになったと言うので、どうしようかと黒田先生に相談、旧委員を東駒形教会に召集、共に祈り、博士の第十回伝道を福音派の協力の下、高瀬主教を委員長、小生を事務局長、黒田師他十名ほどの中央委員会を組織して準備した。その期間中、先生は本所賀川記念館の完成を以って教会を引退され、賀川の郷土徳島県の伝道に余生を捧

げると共に、中央委員のまま四国地区アシュラム委員としても引続いて奉仕された。それと共に石井教会の名与牧師として協力中御令息の保郎牧師が先に召天され、どんなに力も落とされたことか。晩年はあの頑健な先生も病弱となられ、遂に昨年9月18日93才にて帰天された。

先生は早くよりイエスの友会、日本キリスト伝道会の伝道者として各地に用いられたほか、文筆を以て賀川豊彦の大部分の著作の編集発行に力を尽し、また自らもパウロ、ウエスレー、リビングストン・賀川その他の信仰偉人伝を著作された。

「第十回ジョーンズ伝道ニュース」の第二号に「博士から受けた感動」と題して一文を寄せて頂いていたので、その後半をここに紹介して終りたい。「現在日本の教会は老化現象に陥っているのではあるまいか。とする」と老化していた私に感動を与えて下さった博士は、ほんとに日本の教会にショック療法を施してくれるのではないか。博士は日本を極みまで愛しておられる。その愛は限りなく若さを漲らせている。私共は平和を愛し、主を愛するその愛を失っているのではないか。更に博士は靈的カリスマを豊かに持ち続けていられる。アシュラムに参加する者は全て靈的なものに満される。三泊四日目の朝には『自分は天国にいるのではないかと錯覚する位である。新しい生

れ変りをはつきり経験する。聖靈に満されるとはこれだとの確信が生れてくる。現在の我々に欠けていたのはこの靈的カリスマでなからうか。更に博士は洞察力(よみ)が深い。日本に職域伝道を紹介したのも、信徒伝道を勧めたのも、訪問伝道へ導いたのも、祈禱生活とアシュラムを教えたのも、みなジョーンズ博士であった。どうしたら困難な条件を打ち破って神のみわざを進展すべきかを先手先手と示してくれた博士に満腔の感謝を捧げたいものである。」

最新刊好評

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作
忽ち世界各国でベストセラーになった

インド途上のキリスト

金井為一郎元訳 湖江淳一新訳
美装幀 B6判 250頁 価1900円 下250円

若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

好評・再版出来
海老沢宣道著
「アシュラムの原則と実業」

世界アシュラムの標語

(コリント第一書十二章三節)
(ピリピ書 第二章 十一節)

アシュラムの守り方 ー 3 ー

海老沢 宣道

アシュラムの開催には、主催する地区に理解ある(12名程の有志により委員会を組織して、準備をして貰わねばなりません。前回に地区アシュラムの世話役と書いたものと同じです。然しこの委員の他に、次の四種の指導者を選任して、集会の霊的内容を導いて貰う必要があります。それは連盟理事会の推薦する信仰の器であることが望ましいと思います。エペソ書四章11節にあるように、主によって立てられた「使徒、預言者、伝道者」であります。

一、福音の使徒(助言者)
「イエスは主なり」との告白を自らの生活に於て実践し、主イエスへの絶対服従と、聖霊への明け渡しを身を以て一同に示し、人々を主イエスとの交わりに導き入れる役目があり、開心から充滿までの全期間中の霊的指導者であります。

二、聖書の教師(予言者)

この教師は、アシュラムの霊的素質を、聖書を通して聴いた神の御言の權威によって、有効的に説き明すことのできる人で、静聴と恵みの分ち合いの模範となる聖書の霊解を担当して貰うわけで、聖書神学の講義

などをしないことは言うまでもありません。

三、教会の奉仕者

アシュラムの生活体験を各自の教会に於て実践し、どのようにすれば今日の教会の生命に活力を呼び戻すことができたかの手本を示し、参加者に実行を促す使命があります。

四、主の証し人

祈禱会や礼拝の出席、聖書の通読や訪問伝道を熱心に自力でしていることなどの証しでなく、主イエスが自分に家族に友人の誰かに、教会の中に、いかに力強く働かれて、驚くべき恵みが注がれているかの証しを分き与え、参加者をそのような「主の証し人」となるように導くことのできる者です。

以上の四役中、一と二とは教職、三と四とは信徒に願うことができま

す。ある場合は一と三、二と四とを兼任するよう依頼することもありません。何れにしても以上は極めて重い責任があり、開催委員が順番で担当するような事務的つとめではなく、聖霊のきよめを受け、祈り深い心を整えられて、初めて御用に当るべきものであります。

- (一) 御言への静聴と立証
- (二) 聖霊の啓導と充滿
- (三) 神の国の体験と献身
- (四) 教会への奉仕と伝道

全日本クリスチャン・アシュラム

35周年記念事業について

- ①全日本アシュラム
開催日一九九〇年九月23ー25日
開催日 箱根アカデミー(予約済)
特別助言者 D・P・タイタス
開催委員組織内容
各地三役に連盟三役を加え、
実行委員を近県地区より選任
- ②教職アシュラム
- ③第12回全国理事会開催について
二年毎の全国理事会を一九九〇年九月二五日箱根アカデミーにて、全日本アシュラム後に開く。
- ④35周年アシュラムプログラム案

新書判52頁 価三百円70円
スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

全日本クリスチャン・アシュラム35周年記念(案)
1990年9月23日(日)~25日(火)

	23日(日)	24日(月)	25日(火)
A. M.			
6:00		起床	起床
7:00		静聴の時	静聴の時
8:00		朝食	朝食
9:00		福音の時(タイタス)	福音の時(タイタス)
10:00		祈りの細胞(2)	聖餐式
11:00			充滿の時
12:00		中食	中食
P. M.			
13:00		労作の時	
14:00		祈りの細胞(3)	
15:00	登録開始	ファミリーアワー	
16:00	開会礼拝		
17:00	開心		
18:00	夕食	夕食	
19:00	聖書の時(タイタス)	証しと讃美の時(タイタス)	
20:00	祈りの細胞(1)		
21:00	(入浴、自由)	(入浴、自由)	
22:00	迎續祈禱	迎續祈禱	

**世界アシュラム60周年記念
第八回国際アシュラム
本歳年六月・カナダで開催**

一九九〇年はスタンレー博士が、インドでクリスチャン・アシュラムを創始してより満60年を迎えるので、第八回国際アシュラムは、その記念大会として、六月13-17日にカナダのハリファックス市で開くことになり、G・ハンター師から招待状が来た。今日までエルサレム、インド、日本、北歐、米、韓国等を廻ったが、次回にもわが連盟は多数の同志と共に参加したいと考え、左記に計画を立案、参加申込を受付中である。

記

一九九〇年六月11(月)17・45成田発 六月12(火)トロント→ケベック(泊) 両市内見学

- 13 ⑧ 17 ⑧ ハリファックスアシュラム
 - 17 ⑧ ハリファックス→モントリオール
 - 18 ⑧ モントリオール→オタワ(泊)
 - 19 ⑧ オタワ→トロント→ナイヤガラ
 - 20 ⑧ ナイヤガラ→バンフ・スプリング
 - 22 ⑧ スプリング→バンクーバー(泊)
 - 23 ⑧ バンクーバー発24(日)成田着
- (15・45)
- 費用概算 五〇万円
- 申込先 2 目黒区中央町1-1-11 〇
- 〒碑文谷教会 大石嗣郎師
- 〇三(七八三)八八一九

通信友通信

東北アシュラム出席感謝

先日東北アシュラムの集会でお世話になりました。感謝いたします。飯坂教会はどんなところかなと思っておりましたが、明るい会堂で熱心な教会員の皆さんがいらして、和やかなそして実りある一時を過ごさせて頂きほんとうに感謝でした。御言葉に深く耳を傾けることの素晴らしさを感じました。いままでは聖書を「読む」と「研究」することの二つの方法で御心に迫っておりましたが、このアシュラムの御言葉に「聴く」という新しい道を教えて頂き感謝でした。

「アシュラム」という言葉が示されてから、ようやく一年かかって体験することができました。感謝でした。陸前高田キリスト教会 鈴木 剛

◆本年度の関西アシュラム◆

・関西アシュラム委員会は、今年度の関西アシュラムは全日本アシュラムに合流する事に決定した。恐らく10月10日に全国大会の報告と伝達を兼ねた一日アシュラムを何れかの教会で開くことになるかと報告があった。

◆集 会 予 告◆

城北アシュラム
二月12日(月・祝)午前10時より
会場 中野区若宮1-1-15

▽日本キリスト教団更生教会

申込先 右 三三〇一二〇五四
バルナバアシュラム
五月三日(正午)一五五午後一時
会場 日野駅南口南口下車歩五分
ラサール研修所
申込先 394 岡谷市長地小萩 石神勇
〒〇二六六(一八) 一〇八八
城西アシュラム◆

◆城西アシュラム◆

十月十日(体育の日)
会場 66 杉並区高円寺北二-35-17
〒日本基督教団高円寺教会
申込先 電話 三三〇一〇〇五二

◆会 計 報 告◆

飯田隆司	三	六〇〇円
古河 治	一〇	〇〇〇円
関西アシュラム	七〇	〇〇〇円
洲江淳一	一〇	〇〇〇円
九州アシュラム	二〇	〇〇〇円
山本繁夫	一〇	〇〇〇円
杉原 健	一〇	〇〇〇円
合 計	一三三	六〇〇円

アシュラム生活の最良の友
アパ・ルーム
(年6回刊行の日々の糧)
国際的、超教派的、霊的な読物
価 200円 70円、年1,620円
発行所(256)小田原市国府津3-11
振替(東京)1-193834 アパ・ルーム
口座
日本語版は創刊以来 36年続行中

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著
神の然り B6判 220頁
定価1200円 送料250円
〈キリストに明け渡した人生〉
海老沢 宣道 訳
日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れた今世紀世界最大の宣教師が死に勝つ勝利の確信を説く万人必読の書。

サトタル・アシュラム指導者
D・P・タイタス著
植村 俊雄 訳
「御国を来らせ給え」
神の国に就ての研究
A6判40頁定価二百円70円
スタンレーの後継者インドの
タイタス師の名著

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキ
教の新しい折橋生活運動である。

東京都目黒区中央町1-1-11 10
日本クリスチャン・アシュラム連盟
振替口座東京〇一四五五八番
碑文谷教会気付